

## 75歳以上の後期高齢者医療費 2倍化がもたらす受診抑止

75歳以上の後期高齢者医療費は現在、現役並みの所得のある人(単身世帯では年収383万円以上)

を除き、窓口負担は原則1割です。新たな制度で医療費の自己負担額が、2割への引き上げ対象となるのは、世帯内に後期高齢者が1人の場合には、年間の合計所得金額が200万円以上(月額で約16・6万円以上の世帯)となります。

どちらも自己負担割合の  
引き上げ対象

以上いる場合は、年間の合計所得金額が320万円以上(月額で2・6・6万円以上の世帯)となります。また、世帯内に後期高齢者が2人以上いる場合は、年間の合計所得金額が383万円以上(月額で3・8・3万円の世帯)となります。

体調不良なのに受診を控えてしまうと、病気やケガが悪化して、重症化するリスクが高まります。これが肉体的、精神的な負担やストレスにつながり、心身ともに不調をきたしてしまった可能性は高くなります。

重症化してから受診するとより高い医療費がかかってしまい、結果的に費用負担が増大してしまいます。場合によっては病気の進行により取り返しのつかない事態に陥ってしまうことが考えられます。

### シミュレーション

### 私の医療費はいくらになるの？

現在、糖尿病を治療していますが、月1回の通院で血液検査と尿検査を受け、先生に問診で不安なことをたずねています。今は、診療所の会計は900円ぐらいで済んでいますが、2割になるといろいろな検査も2倍、問診も2倍、薬代も2倍になるのですか？

(草津市在住・75歳男性)

＜今まで＞※薬代は別

診察(+指導料)：360円 + 検査：400円  
+ 処方箋(+加算)：140円 = 900円

＜これから＞  $\times 2 = 1800$ 円



1割負担から2割負担になると、窓口で支払う費用はほぼ2倍になるので、検査も問診も薬も、これまでの2倍費用がかかるという認識で間違いありません。

私は現在リュウマチがあり、月に一度診察と治療にこびらい生協診療所に寄せていただいている。診療所の支払いは約200円です。10月から高齢者の医療費が2倍になると聞きましたが、いくらの負担になるのですか？

(栗東市在住・78歳の女性)

＜今まで＞※薬代は別

診察 + 処方箋 = 200円

＜これから＞  $\times 2 = 400$ 円

診療所での支払いだけでみると大きく変わらないと感じられるかもしれません、新しい薬が必要となったり、病院で高度な検査・治療を受けたりして、高額な請求を目の当たりにすると、今までこの半額だったのに、と費用倍増の影響を実感することでしょう。



引き続き、後期高齢者医療費の2倍化に反対の声を上げていきましょう！

75歳以上の後期高齢者の医療費  
自己負担割合が、1割から2割へ

